

NO.4

2010

みずき 便り

新春特集
水への思いあれこれ



こんな水道が 欲しいな！

こんな水道が欲しいな!

水への思いあれこれ



毎日使うものだけれど、あらためて「感想は?」と聞かれるとなかなか思い浮かばないのが「水」。でも、ちょっと考えれば、やっぱり続々と出て来ました…。晩秋の宮ヶ瀬ダムの日曜日、見学に来ていた方々に聞いてみた、それぞれの「夢の水道」「水への思い」を紹介します。



相模原市
玉津 拓矢
七都海(写真右)
明彩美(同左)
塚崎 洋一

神 奈川の水はおいしい。
実家の三重県から、最初に東京へ来たときにはそのまま飲むのに抵抗があったのですが、神奈川の水は三重に負けません。

横浜市保土ヶ谷区
野崎 謙治
愛子

実 家は長野県。長野の水はとてもおいしいので、比べてしまうと「味が違うな」とは思いますが、それでも長く暮らしているのでなじんできました。



秦野市
塚本 弘二
羽田 弥寿代

秦 野の水は刺激臭もなく、けっこうおいしいですよ。特に節水という意識はしていませんがお風呂の水を洗濯用に使ったりしています。



水とエネルギー館
職員
吉澤 麗子

宮 ケ瀬の水はきれい。たぶん上流に生活圏がないからだと思いますが、普段の暮らしの中でも節水や、河川を汚さない意識は必要ですね。

横浜市戸塚区
安斎 勇氣(小2)

家の水道水にはおいがある気がします。ジュース味の水だったらおいしいと思うけど。

川崎市麻生区
押田 真子／ひろ(6歳)

防災用としてペットボトルも備えていますが、普段使うのは水道水。そのまま飲めて、安全でおいしい水であってほしいと思います。

藤沢市
三觜 敏幸

断水の経験はありませんが、各地の地震や火事などの災害のニュースで水の必要性を認識します。大切にしたいですね。妻はダム好きです。

秦野市
福澤 公明
公子

水道水は煮沸してペットボトルに入れて冷蔵庫へ。氷もこれでつくります。毎日一定量の水は体によいといわれます。毎日コップに1杯、水に塩を入れて飲んでいますが、それを実感します。

平塚市
三觜 隆幸
美由紀

敏感肌なので、肌にやさしくておいしい水がいいですね。宮ヶ瀬ダムは初めて見ました。大きいでびっくりしました。

平塚市
小澤 紘平

日本は水道からそのまま水が飲めますが、外国では飲めない国が多いです。そう考えると恵まれています。特に神奈川の水は問題もなくおいしく飲めると感じています。

相模原市
中村 光利
綾子／百花(1歳4か月)

結婚してこちらにきました。神奈川の水がおいしいのでうれしいです。宮ヶ瀬ダムができるときに来ました。妻と子どもにも見せたくて16年ぶりに来てみました。



「飲水思源」

神奈川県内広域水道企業団
企業長
尾高 嘉重

人の暮らしと社会を支えるため、なくてはならない水道の仕事に携わる者として、新年に願うこと。

それは、安全で良質な水を間断なく皆さんにお届けすること。そして自然の恵みを受けて、水源となる湖は満々と水を湛えてほしいということです。とりわけ水源地には、県民の水がめのためにと故郷を去ることとなった多くの先人達の願いも込められております。

そうした深いご理解とご協力のうえに水道事業運営がある訳ですが、神奈川県は、丹沢湖や宮ヶ瀬湖の完成によって、大きな気象異常がない限り水道用水の心配をすることなく、また、安全や防災面では、酒匂川と相模川との相互融通管によって、災害時の安全度も飛躍的に向上いたしました。

おかげさまで、昨年は当企業団の水の供給に支障を及ぼす災害や大きな事故もなく、また、雨量も平年並みで貯水量の心配もなかったことは、水道事業を運営する者として、大変有り難いことでした。しかし、安全で良質な水をつくり送り続けられるのも、また、皆さまが利用できる

のも、豊かで清らかな水源、そしてそれが流れる川の流域に位置する自治体とそこに暮らす方々の取り組みがあってのことです。

中国の古いことわざに「飲水思源」という言葉があります。これは「水を飲む時、その水源のことを思い、感謝の気持ちを持つ」という意味のもので、私達は「飲水思源」の心を大切にし、水源地の皆様への感謝を忘れずにいたいと思います。

また、今年は、神奈川県で全国植樹祭が、丹沢山系の麓である南足柄市と秦野市で5月に開催されますが、水源林を守り再生するという意味からも、企業団も積極的に支援しております。

良い水は豊かな森に蓄えられています。こうしたことから森は「水の母」とも申せましょう。

さて、当企業団も特別地方公共団体として設立され40年が過ぎましたが、「水のメーカー」として、蛇口をひねれば水が出るという当たり前のことを支え続けるため、365日24時間、より高いレベルの安全、安心を求め、日夜職員たちが努力しております。

新年を迎え、改めて「飲水思源」の言葉を噛みしめ、10年先を見据えたトップレベルの広域水道の実現のため「安全」「防災」「環境」の3本の柱を中心に取り組んでまいります。

今後とも皆さまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

企業団の新キャラクター

ウォービー誕生！

企業団が創設40周年を記念して募集を行った新キャラクターコンクールでは、1709点の応募作品の中から、52点が入賞作品として選ばれ、最優秀賞の天津美香さん(写真:南足柄市立足柄台中学校3年)の作品「H₂O君」をモチーフにした新キャラクター「ウォービー」が誕生しました。



「ウォービー」とは、水から生まれた新しい生命体「ウォーター(水:Water) ビーイング(生命体:Being)」という意味です。今後は企業団の顔として活躍しますので、どうぞよろしくお願いします。

※「H₂O君」をモチーフとした「ウォービー」は天津さん了承のもと制作されています。



水への夢が形になった！

ここに、ひとつの夢をかなえた人たちがいます。企業団が創設40周年を記念して行った「新キャラクターコンクール」の入賞者の皆さんです。

入賞作品は、それぞれの「水への夢」をキャラクターに託した力作揃いです。ここにその一部をご紹介します。

最優秀賞



H₂O君
天津美香さん
南足柄市立
足柄台中学校3年

神奈川県内広域水道企業団賞



ぽっちゃん
佐藤ふうこさん
厚木市立
森の里小学校4年



じゃぐぞう
三角昌行さん
川崎市立
生田中学校3年



みづき君
水島あゆみさん
町田デザイン
専門学校2年

神奈川新聞社賞



ピュアラビ
小田島由芽さん
大和市立
深見小学校5年



ミズ太郎
辰巳裕亮さん
平塚市立
旭陵中学校1年



ウォー太くん
高部はるみさん
横浜市神奈川区在住



シリーズ
おいしい水
研究プロジェクト

「おいしい水」づくりへの夢 活性炭から地球環境を考える

その品質を、世界から評価されている日本の水道水。
良質な水づくりに大活躍するのが、浄水過程で使用される「活性炭」です。
しかもその活性炭は、どんな種類の木からも作ることができる夢の素材です。



活性炭のすぐれた働き

水道水をつくる過程で活性炭が使われているのをご存知でしたか？水のおいしさの決め手のひとつに「臭い」がありますが、たとえば水源である酒匂川や相模川に水道水にふさわしくない臭いが生じた場合、活性炭を使用して原因物質を取り除きます。企業団では2～3時間おきに臭気検査を行い、何らかの異常が感知された場合、ただちに活性炭を投入し対処します。

活性炭は、木炭を高圧水蒸気などで処理して作ります。成分は、大部分が炭素。そのほか酸素、水素、カルシウムなどからできています。小さな穴がたくさんあり、その穴に多くの物質を吸着させる性質があります。薬品臭やカビ臭などを発生させるごく微量の粒子をはじめ、農薬なども吸着させ取り除くことができます。さまざまな物質を吸着させた活性炭は、浄水過程で取り除かれ、水道水の中には残りません。活性炭に代わるような安全で安価な不純物除去の方法は、今のところありません。

環境問題での可能性

現在、水道水に使われる活性炭は国内生産されていますが、もともと日本には外国に技術供与するほどの高い生産技術があります。その技術を生かし国内生産を改めて考えてみることで、環境問題にも新たな可能性が見い出せるのではないかでしょうか。

原料は、木なら何でも可。間伐材でも、公園の剪定枝からでも作ることができます。林業の停滞などの原因で、水源林の危機が問題になっていますが、活性炭づくりは、まさにその水源林の手入れをすることになり、保水能力を高め、川の水を美しく、豊かにすることにつながります。良質な水道水をつくるために使われる活性炭が、森を元気にし、おいしい水づくりに活躍するのです。

また、木を木炭化することは大気中のCO₂を炭素として固定化し、CO₂を減らすことにもつながるので、温暖化対策としても効果があります。

いずれにしても、おいしい水づくりは水源から。皆さんと共にいかにきれいな川の保全と再生を図っていくかが、これから取り組みの中での最も重要な課題だと思います。その一つの方法として、「活性炭」が持つ大きな可能性について、改めて考えてみることも必要ではないでしょうか。

われらエコ仲間 File ③

森の恵みを、誰もが享受できるように

NPO法人「丹沢 森の仲間たち」

かながわ森林インストラクター養成講座に参加した有志によって1999年に発足。2006年よりNPO法人化しました。会員数は25名(09年12月現在)。

月に1回、会員が集まり1泊2日の月例研究会で林業研究や森林整備を行っているほか、森林・林業と都市生活者・青少年を結びつける森林環境教育にも力を入れ、会員外の子ども会や学童クラブなどを対象にした「森林体験教

室」を、年に4～6回開催しています。たとえば竹林で間伐を行い、竹で食器を作ってみんなで食事をし、その後は竹炭にするといった一連の森の営みを子どもたちと共に体験します。「森林体験とは五感で感じるもの」という理念を実践し、視覚障害者や自閉症のための森林教室といったユニークな試みも行っています。



事務局長：川又 正人
連絡先：TEL.0465-77-2804
<http://www.sakura11.com/tanzawa/>



水道企業団ニュース
Mizuki TIMES
みづきタイムズ

創設40周年記念フォーラム開催
2009年11月25日:はまぎんホールヴィアマーレ

県民の皆様と共に「かながわの水」を考える

神奈川県内広域水道企業団では、創設40周年を記念し、広域水道事業の意義と重要性を広く県民の皆様に知っていただくため、2009年11月25日にはまぎんホールヴィアマーレ(横浜市西区)において、記念フォーラム「県民の皆様と共に『かながわの水』を考える」を開催しました。

〈第1部〉

フォーラムは、尾高暉重企業長の「昭和40年代の人口増加と産業発展によって急激に水需要が高まり、昭和44年5月企業団が創設されました。平成21年には相模川水系建設事業第一期工事が終了し、現在は1日に約5億3千万m³、横浜スタジアム1800杯分の水道水を、およそ800万県民に届けています。企業団ではより安全で安心な水道を目指し取り組んでおりましたが、丹沢湖や宮ヶ瀬湖といった水源がなければ県民の皆さんに水をお届けすることができません。本日のフォーラムが水源に感謝し、水道水について考えるきっかけとなれば幸いです」という主催者挨拶で始まりました。

次いで、構成団体を代表して林文子横浜市長、日本水道協会の御園良彦専務理事、全国水道企業団協議会関東地区協議会の岡本正和会長



感謝状贈呈

からの祝辞の後、水源地である三保ダムのある山北町と宮ヶ瀬ダムのある清川村に対し、日頃の水源地管理に対し、また、水道用水供給に寄与いただいている酒匂川、相模川の漁業協同組合各位に感謝状が贈呈されました。

第1部の最後に、「かながわの水源を守る」と題し、県政策部の黒川雅夫部長による水道供給と県の施策のあゆみ、水源確保と森林再生の重要性についての基調講演がありました。

〈第2部〉

第2部は、「企業団事業の40年を振り返って」と題し、企業団高久景一技術部長の企業団40年間の事業の紹介から始まりました。

続くパネルディスカッションは、パネリストに、橋本淳司氏(東京学芸大学客員准教授・水ジャーナリスト)、見城美枝子氏(青森大学教授・ジャーナリスト)、金子明(企業団水道技術管理者)、コーディネーター林義亮氏(神奈川新聞社論説副本幹)によって「水問題から考える私たちの暮らしの未来」をテーマに進められ、



高久景一
企業団技術部長



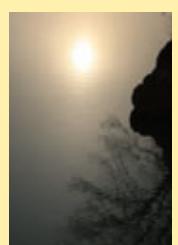
左から橋本淳司氏、見城美枝子氏、金子明

世界の水事情、今後の水道事業が目指すべき方向性、水に対する新たなニーズなどを中心に、活発な議論が交わされました。

当日は平日にもかかわらず、会場は満員になるなど、「水」に対する関心の高さがうかがえ、暮らしに欠かせない水道水について、さまざまな角度から考える貴重な機会となりました。

《表紙の言葉》

里山の夕日
(相模原市青根)



北丹沢の大自然
に囲まれる道志川
と相模川の流れがゆっくりまじり合い、夕日も差し込むきれいな場所。キャンプ場シーズンの終りと共に、これからは真冬に向い雪に閉ざされた景観もまた美しい。

近くにはエビラ沢の滝、棚田、昔なつかしい風景の青根小学校校舎。散歩コースに良いかなと思います。

天野暁子(写真愛好家・相模原市)

かながわ水道 NEWS & TOPICS

水道企業団を構成する県企業庁、横浜、川崎、横須賀の各水道局からのお知らせです。



横浜市水道局

水道局の土地、お貸します! ~一時貸付制度と広告掲出のご案内~

横浜市水道局キャラクター
はまピョン

横浜市水道局では、水道用地の一時貸付と、水道施設や用地を活用した広告掲出の企画案を募集しています。

【水道用地の一時貸付】

資材置き場、仮設工事事務所、モデルルームなどの一時的な使用用途にお使いいただけます。貸付期間は原則1年間で、2年間まで延長可能です。1年未満の短期使用についてもご相談ください。個人・団体・法人のいずれの方もお申し込みいただけます。

いますぐクリック!

[横浜水道一時貸付](#)

検索



用地の一時貸付



横須賀市上下水道局

桜の季節に 「走水水源地」を開放します!

横須賀上下水道イメージキャラクター
アクアン



横須賀市上下水道局では、3月下旬から4月上旬の桜の開花時期に合わせて、市内にある走水水源地の一部を開放し、「桜の散策 走水水源地」を開催する予定ですので、ぜひお越しください。

この施設の開放は、平成22年で6回目になります。毎年3万人前後のお客様にお越しいただき、桜並木の散策や海の香りを楽しんでいただいている。

水源地の一部であるため、ゴミの持ち帰り、火気厳禁、ペット不可などをお願いしていますが、お客様からは、「花と海の香りが楽しめる」「静かでよい」など、大変ご好評をいただいている。

水源地に隣接する駐車場には、通称「ヴェルニーの水」という水飲み場を整備しており、走水の湧水を楽しんでいただくことができますので、併せてご利用ください。

詳しくはホームページをご覧ください。



横須賀市上下水道

検索



県企業庁

全ての水道営業所に 電気自動車(EV)を配置します

県営水道キャラクター
カッピー

県企業庁では、地球温暖化防止への取り組みとして県が推進する「クールネッサンス宣言」のリーディングプロジェクトの一つである「県庁エコ化プロジェクト」に、組織一丸となって取り組んでいます。その一環として、今年度中に全ての水道営業所に1台ずつ合計11台の電気自動車(EV)を配置します。

昨年の10月には、平塚、海老名、箱根の3水道営業所に配置するための企業庁電気自動車(EV)納車式が行われ、TVにも取り上げられました。今後は、1月に2台、2月に6台が納車される予定になっています。

県企業庁として、これからも、「おいしい水」と「きれいな空気」を次の世代に残していくために、積極的に環境保全の取組を進めてまいります。

なお、電気自動車のラッピングデザインは、県立産業技術短期大学校で産業デザインを専攻する学生の作品です。



川崎市水道局

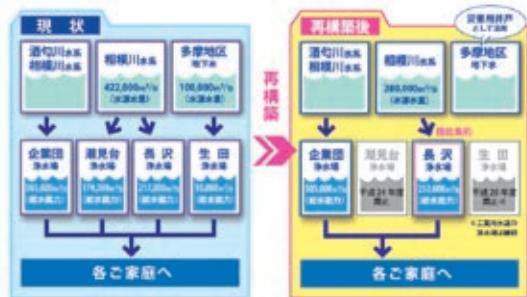
~改革への取り組み~ 水道事業の再構築計画

川崎市水道局キャラクター
ウォーターン

川崎市の水道事業は現在、1日約100万m³の水道水を供給できる体制を整えていますが、実際に使用されている水道水は約50万m³にとどまっています。将来の水需要もピーク時で63万m³と予測されており、供給能力との差が大きな問題となっています。

また、浄水場を含めた施設の大部分は、戦後の復興期、高度成長期に建設されたもので老朽化が進み更新時期を迎えています。このようなことから、将来の水需要予測に基づき適正な事業規模に見直すことを目指した「再構築計画」を策定し、浄水場の統廃合を主軸とする施設の再構築化を進めています。

その際には、水質管理対策、漏水防止対策、震災対策などの危機管理面の強化にも努めています。



県で戦後初めての本格的な大型ダム

1947年は日本にとって、大きな変化の年でした。全国の国民学校では学校給食や小学校6年、中学校3年を義務教育とする「六・三・三制」が始まりました。また日本国憲法施行や、新たに設置された参議院の第一回選挙が行われたのもこの年です。

県内に目を向けてみると、日本最初の女子野球大会が横浜で開催されています。民間貿易の再開により、横浜は世界に向かって再び門戸を開き、戦後の復興を目指していました。

しかし、石炭不足や渴水による深刻な電力不足は経済復興の大きな足かせとなつており、水資源やエネルギーの確保が国家的課題でした。

そんな折完成したのが、「相模ダム」です。相模ダム建設を中心とした相模川河水統制事業は、昭和13年に県議会で可決され、発電、水道用水、工業用水道用水、農業用水等と多目的な開発として、昭和15年にスタートしました。昭和22年、神奈川県で最初の大規模



な人造湖・相模湖を形成した相模ダムの完成を、6月16日の神奈川新聞は、「10年の歳月と1億円の巨費を投じ戦時中のあらゆる障害と敗戦のめまぐるしい変動に際して金融、資本、労力などあらゆる面に苦難を克服して県富相模川河水統制事業建設工事は14日相模ダム完工とともにその輝かしい金字塔を打ち立てた」と伝えています。

丹沢湖

温泉でくつろぎながら大自然を満喫…



「美人の湯」とも言われています。
泉質：アルカリ性純泉（筋肉痛、神經痛、冷え性等に最適）

清流と四季折々の西丹沢温泉郷へ



ミツマタの群生
3月中旬頃

1泊2食付(税込)
7,000円~
(平日)

心地良い温泉と季節のお料理を、
アットホームなおもてなしの中で、
心ゆくまでお楽しみ下さい。

武田信玄の隠し湯 西丹沢中川温泉郷
うぐいすの里
丹沢荘

<西丹沢名物料理 猪鍋・鹿刺・川魚塩焼き>



足柄上郡山北町中川 527-1 <http://www7.ocn.ne.jp/~tanzawa/>
小田急線「新松田駅」等送迎いたします。※事前にお申し込み下さい。



音と映像で企業団を紹介しています。

発行：平成22年1月

神奈川県内広域水道企業団

神奈川県横浜市旭区矢指町 1194番地

TEL.045-363-1111(代表) FAX.045-362-7212

<http://www.kwsa.or.jp> mizuki@kwsa.or.jp



古紙配合率100%再生紙を使用しています

編集後記

「みずき便り」を創刊してちょうど1年、今年は誌面づくりを通して多くの方々に出会い話を伺うことができました。ご協力ありがとうございました。

「神奈川の『水』はおいしいよ。頑張って」。この言葉は、これから仕事への大きな励みになりました。本当にうれしい言葉もありました。

今年多くの出会いと共に、「水」を通じた輪が広がっていくことを願っています。



「みずきの花」

(ロ)